

2月25日開催

【ウェブセミナー】効率的な知財情報の活用を行うために

No.	質問	回答
1	自社で作成した分類を使って、他社の特許も分類ができるとおっしゃっていましたが、その際は何をキーに分類分けされるのでしょうか？	DDAで自動分類で分類を行う場合、トレーニングフィールドという分類のキーになるフィールドを設定します。 例えば、自社特許を自社分類した際、DWPI抄録-用途をフレーズ分解したフィールドをトレーニングフィールドに設定すると、自社特許のDWPI抄録-用途で使われているフレーズの分類基準に基づいて、他社特許のDWPI抄録-用途のフレーズと照らし合わせて他社特許の分類が決められていきます。
2	SDIについて 1. 非登録ユーザーにも配信設定は可能ですか？ 2. SDIの通知（メール）内で、配信された文献の概要を直接表示させることはできますか？	1. アラート（SDI）は、DIのIDを持っていない非ユーザーにも結果を送付することは可能です。ただし、配信する際の結果には上限が設けられています。 （例えば、請求項は100,000 文字以内、通知形式がE-mail,Excelは特許500件、CSVは特許1500件までなどの制限があります。） 2. はい、可能です。DWPI抄録、抄録、DWPIタイトル、タイトルなどの配信したい内容をお客様で設定することが可能です。 ただし、アラートのE-mail通知は3MB以内のサイズ制限が設けられていますので、抄録などの長い文章を通知で設定した場合、すべての結果がメールで通知されない場合もあります。また、E-mail通知は特許500件までの通知となります。